

卒業後も図書館を



図書館報

第234(22-2)号(2023.3)

横浜女子短期大学図書館

TEL 045-835-8115/FAX 045-835-8118

E-mail lib@yokotan.ac.jp

私たちの図書館活用術 2年生から後輩のみなさんへ

図書館をよく利用してくれた2年生に、課題や実習準備、息抜きのための上手な活用法を教えてもらいました。みなさん、卒業間際の忙しい時期に原稿をありがとうございました。学生生活の中で多くの経験をした先輩からのメッセージを参考に、1年生のみなさん、ぜひ図書館を有効利用してください。

実習で喜ばれた絵本ベスト3

A. S.

私が実習に持って行って、子どもたちがとても喜んでくれた絵本を紹介します。ぜひ参考にしてください！



『ねこのピート だいすきなしろいくつ』エリック・リトウイン作 ジェームス・ディーン絵 ひさかたチャイルド
歌いながら読んだり、問いかけながら読むので、乳児、幼児のクラスでも楽しめます！



『しろくまのパンツ』tupera tupera 作 ブロンズ新社
パンツの模様をクイズにして読むことができます。参加型絵本は子どもたちの反応が良いです！



『おおきなかぶ』A.トルストイ再話 福音館書店
「うんとこしょどっこいしょ」とみんなで言えるところがとても盛り上がります！



ほかにも横短の図書館には絵本がたくさんあります。自分の好きな絵本を見つけてぜひ実習で読み聞かせしてみてください！！

子どもたちの輝く目が嬉しくて

M. S.

2年間、私は図書館でたくさんの本を借りました。横短の図書館はとても広くて多くの本があります。特に実習前によく絵本を借りました。実習先で絵本を読む機会はたくさんあります。もちろん園の絵本を借りるのもいいと思いますが、図書館の絵本を持っていくと、子どもたちはいつもワクワクした目で見てくれます。なぜなら冊数や種類が豊富な図書館から選んだ絵本は子どもたちにとって初めて見るものが多く、いつも目を輝かせてくれるのです。私はそれが嬉しくていつも借りて持って行きました。

横短の図書館の司書さんはとても優しく「こういう絵本ありますか?」と聞くといつも丁寧に答えてくれます。なので、安心して図書館を利用してください! 1年生のみなさん、図書館にはたくさん本があります。たくさん本を利用して、たくさん本のことを学んでください。すごく楽しいですよ。



素敵な空間

M. K.

私は2年間、授業の前後に図書館へ行って課題に取り組んだり、本を読んで利用することが多かったです。図書館には保育科に特化した専門書のほか、話題の小説や単行本などがあり、季節や行事にあわせて館内もかわいく展示されていて、とても素敵な空間です。実習前になると、指導案や日誌に関する本や、子どもの遊びについての本などを「実習フェア」として見やすい場所に特集、展示して下さるので、ぜひ行ってみてください!



「実習フェア」で早めの準備を

実習前、2階絵本コーナーに保育の本(日誌の書き方、指導案の立て方など)を展示します。人気のある本は複数冊揃えています。すぐに貸出されてしまいますので使いやすい本は早めに借りて準備することをおすすめします。



人気の絵本も
たくさん
揃ってます!

「実習フェア」に展示する本は一部です。3階の保育の棚にもたくさんありますので必ず見てください。



図書館で楽しい時間を

Y.H. さん、M.M. さん、M.Y. さんにインタビューしました。



●2年間どんな時に図書館を利用しましたか

Y.H. 実習前には日誌の書き方の本や絵本、紙芝居などを借りました。授業ではペープサートや運動、健康の本を借りて利用しました。息抜きしたいときには小説などを読んでよく過ごしていました。

M.M. 放課後アルバイトまでの時間、課題や試験が近い時、実習に向けての準備など「今日は予定がないから図書館に寄って帰ろう」と楽しい時間を過ごしました。司書さんのおすすめのコーナー「ひと箱図書館」が展示替えされる時も楽しみでした。



M.Y. 家で読むために絵本を借りることが一番多かったです。他にも実習が始まる前、課題や授業で利用することもありました。

●実習前にはどんな準備が必要ですか

Y.H. 絵本を実際に手にとって見せ方や読み方の練習をしてみると良いと思います。

M.Y. 何冊か気になる絵本を借りておいて、自分で読むことが大切です。読んでおくことで、実習中読み聞かせの時間をもらえたときに、自信をもってできると思います。



●園で喜ばれた絵本や役に立った実習の本(指導計画、ガイドなど)があれば教えてください

Y.H. 絵本『いたずらオオカミくん』（世界文化社）、紙芝居『おうさまさぶちゃん』（童心社）は子どもたちが喜んでくれました。



わにわにのごちそう



小嶋 まち子 監修 田口 マチ子

M.M. 絵本「わにわにシリーズ」（福音館書店）が人気でした。靴下でワニの人形を作って手あそび「わにのかぞく」や、スケッチブックシアター「ハンバーガー」をしました。『実習の日誌と指導案完全サポート』（新星出版社）も役立ちました。一日の保育の様々な場面で使える本をイメージして借りるといいですよ。

M. Y. 「ばけたくんシリーズ」「しろくまのパンツ」。特に「だるまさんシリーズ」は乳幼児（0～2歳児）に大人気の絵本で、一緒に読んだり身体で動きを表現しながら楽しく読み聞かせできます。



●横短の図書館の魅力を教えてください

Y. H. 保育の専門書が多く、そのほかにも様々な分野の本があります。保育現場には欠かせない絵本や紙芝居もたくさんあって、課題に取り組みやすい静かな環境と資料があるところが魅力です。

M. M. 2年間では読み切れない、面白くて様々な分野の本がたくさんあります。特に保育の本はこれ以上ないくらい充実しています。ほかにも生涯の趣味につながる本、食や心身のメンテナンスの本も見つけることができ、古いことから現在の問題まで、私たちが考え知るべきことがぎゅっとつまった場所です。



M. Y. 絵本の種類が豊富なところですよ。昔からある定番のものから最近のものまで揃っています。また、人気の絵本は複数あるので、実習でも利用しやすいです。

●図書館利用について一年生へ伝えたいこと（実習や課題の準備など）

Y. H. 責任実習で何をすれば良いか迷ったら、図書館に行って調べたり、参考にするのが良いです。

M. M. 放課後時間がある時は図書館へ行くことをおすすめします。外見だけでなく内面を磨きたいみなさんはぜひ！本を読むことが苦手な私でも興味のある分野の本なら楽しむことができると気づきました。今までの自分よりちょっと成長できるかもしれませんよ。大切なのは自分がこれからどうしたいか考えること、色々な保育の本を見て理想の保育を見つけましょう。



M. Y. 実習が近づくと部分・責任実習の内容をいくつか用意しなければいけないと思うので、保育雑誌などを参考にと現場でも実践しやすいものが準備できると思います。3階の自習スペースを利用することで本ですぐ調べることもできるし、静かな環境で落ち着いて取り組めるのでいいですよ。

●みんながもっと足を運ぶようになるアイデアあれば教えてください

・掲示板に新しい絵本・本が入った時にお知らせのポスターや、司書さんのおすすめのコーナーを設けて宣伝してはどうでしょう。

・仕事とプライベートを上手に両立できるようになれる本、今ブームの本（美容、料理、カフェ案内、旅行）も充実すると楽しめそうです。

・学生に協力してもらって、読み聞かせ（学生同士）のイベントを開く。

・入学時、ライブラリーカードを受け取る時、いくつかグループ分けをしてツアーを



開催したら良いと思います。本館から少し離れている場所にあるので、どんな本がどこにあるか、本の借り方のレクチャーや活用方法を少人数で説明してあげるとわかりやすいかもしれません。



色々なアイデアをありがとうございました。

これからも授業、課題、実習などみなさんの学生生活をサポートできるように、保育の本を中心に幅広く魅力的な本を揃えてお待ちしています。利用法、資料のさがし方、調べものなどわからないことは遠慮せず聞いてください。ぜひ一日一回図書館へ足を運んでください。



卒業を迎えるみなさんへ



●●先生からのおすすめ●●

『タンタンタンゴはパパふたり』（ジャスティン・リチャードソン）

図書館長 スティーヴン・トムソン

現代社会が多様化している中、子どもにとって自分と異なる特徴（人種、国籍、言語や家族構成など）を差別なく受け入れることは、重要な社会的能力（コンピテンシー）であると言える。そこで、『タンタンタンゴはパパふたり』と題した絵本を勧めたい。この物語の主人公はニューヨークのセントラルパークにある動物園にいるヒゲペンギンのロイとシロである。ロイとシロは仲良しペンギンであり、のちに同性のカップルとなる。ロイとシロはいつも一緒に行動し、春になると他の異性カップルを真似して同じように巣を作り、卵を温める準備を繰り返してきた。しかし、当然のことながら卵に恵まれない。

温かく見守っていた飼育係は、ある春、他のカップルに見落とされた卵をロイとシロの巣に入れたところ、ロイとシロは協力しながら熱心に卵を温め、のちにタンゴと言う元気な赤ちゃんペンギンが誕生する。この話しは実話であり、セントラルパークの動物園では、多くの親子はこのペンギン家族に関心を持ち、応援するために訪れたという。この絵本の主人公は動物であるため、子どもにとって親しみやすく、比較的難しいテーマも理解しやすい内容となっている。このような絵本を通して子どもの多様性への理解を育みたい。（ポット出版）



『保育者の地平—私的体験から普遍に向けて—』（津守真）

本田 幸

著者の津守真先生は、発達心理学の研究者として、長年にわたり子どもの研究をされてきました。『保育者の地平』には、著者が12年間、愛育養護学校の校長として子どもと関わり、保育実践を行った体験がまとめられています。ご自身の保育者第1日目から、12年間の実践と省察です。5日目からは、担任も経験されています。この本を通して、保育者にとって大切なのは子どもと過ごす「いま」であるということ強く教えられます。さらに、保育を実践する上で、子どもを理解することの難しさや担任としての悩みなどにも触れられています。そのような意味でこの本は保育論であり、保育者論でもあります。保育の仕事は、楽しさや喜びがたくさんあります。けれども、私は、保育は言葉や理論で表現されるほどに簡単ではなく、実践することは本当に難しいと常々思っています。難しいからこそ、やりがいがあるのかもしれない。



この本の最後には次のような言葉が記されています。

「子どもが生きる場所が光り輝くように

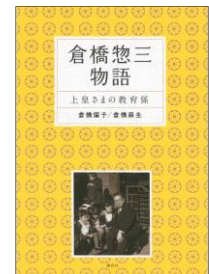
子どもがはじめた小さなことに目をとめて、それにこたえる保育者となるように」
私はこの言葉を大切にしていきたいと考えています。（ミネルヴァ書房）

もう一冊、ぜひ読んでほしい本をご紹介します。

『倉橋惣三物語 上皇さまの教育係』（倉橋燿子・倉橋麻生）

この物語は、「近代幼児教育の父」「日本のフレーベル」と呼ばれる倉橋惣三の伝記小説です。著者は、倉橋惣三のお孫さんの奥様（倉橋燿子さん）とその娘さん（倉橋麻生さん）です。倉橋惣三の少年期から73歳で生涯をとじるまでの出来事が、倉橋惣三の日記やその他の資料をもとに物語として書かれています。

倉橋惣三は大学で心理学を学び、幼児教育の理論構築に努め、日本の保育界に大きな足跡を残しました。倉橋惣三は、優れた理論家であると同時に豊かな感性をもった人物でした。それは、倉橋惣三の著書『育ての心』などからも感じることができます。倉橋惣三は内気で臆病な性格で、運動がとても苦手な子どもでした。その惣三少年には、近所に住む年下の一平、正太郎という大切な仲間がいました。彼らとの出会いは、倉橋惣三と児童学を繋ぐ原点となりました。倉橋惣三は、いつまでも温かいまなざしで子どもを見つめていた方なのだと感じます。子どものことが好きで保育学を選び、学んできたみなさんです。倉橋惣三について“もっと知りたい！”と思った時に、ぜひ読んでみてください。



（講談社）

◆◆館員からのおすすめ◆◆

『ゆく川の流れば動的平衡』（福岡伸一）

原 真由美

著者は小学生のある日、小さな緑色の虫を見つけ、図鑑にない新種を発見したと勇んで国立科学博物館（上野）に持って行きます。受付の係員は丁寧に対応し、専門の先生の所へ通してくれました。結果はありふれたカメムシでしたが「虫を研究する仕事がある」と知り、生物学者を志すきっかけになったそうです。子ども扱いしない大人たちの対応がとても素敵です。このエピソードを始め、好きな絵画や本、勤務する大学の学生たちのことなど幅広いエッセイが綴られた楽しい一冊です。どこからでも、興味のあるところだけ読んでも構いません。

私が好きなのは、あたたかい眼差しを幼い子に向けた「世界の移ろいに気づく」というエッセイです。音、光、風など世界のかすかな移ろいに気づけるということは、すべて新しい発見への扉になると言っています。これから社会に旅立つみなさんにおすすめします。

（朝日新聞出版）



『新 自分を磨く方法』（スティービー・クレオ・ダービック）

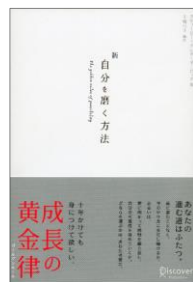
吉田 梨紗

『新 自分を磨く方法』には 50 項目もの自分の磨き方が書かれています。一つ一つの項目が簡潔に書かれていますので、サッと読むことができます。この中からみなさんに読んでもらいたいところは、「14.失敗から学ぶ」（p.46～47）ということです。「失敗から学んだことは、かけがえのない肥やしとなり、何よりもあなたを成長させる」とあります。初めてのことや不慣れなことをする時には失敗はつきものですが、そこで落ち込むのではなく、失敗をしたからこそ気を付けるところに気が付けるのです。

そして「39.学び続ける」（p.114～p.115）ということ。「自信のある人とはまた、常に学び続ける謙虚さを持ち続ける人のことでもある」とあります。社会へ出てからは人から学ぶこともたくさんあります。学ぶことに遅いことはありません。気がついたときから続けるうちに、何倍も大きな結果となって返ってきます。

本書にはこのほかにも自分を肯定してくれる前向きな言葉や方法がたくさん書かれており、読んでみると新しい気づきがあります。新しい環境へと向かうみなさんにぜひ読んでもらいたい一冊です。

（ディスカヴァー・トゥエンティワン）



実習や課題、卒業後も！ 役立つ保育雑誌

季節の遊びや計画が盛りだくさん

図書館では保育を中心に多くの雑誌を購読しています。雑誌は図書よりも情報が早く話題のニュースも満載です。インタビューの中でM.Y.さんも、実習に「保育雑誌などを参考にすると現場でも実践しやすいものが準備できる」とおすすめしています。普段から特集テーマを見ておくだけでも参考になりますし、授業や課題、実習で図書と同じように雑誌を活用できるといいですね。購読しているうちの一部を紹介します。

実習、課題に便利！

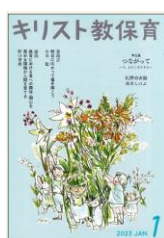
授業や実習、現場へ出てからも役立つものに**保育の友**、ひろば、Paprika（パプリカ）、PriPri、保育とカリキュラム、新・幼児と保育などがあります。豊富な写真やイラストで実例が紹介され、毎月の壁面、行事の製作など内容が盛りだくさんです。多くの雑誌には指導計画案があり、年齢別に毎月の計画・遊びの具体例が掲載されているので図書より題材が新鮮で実践的です。

子どもの健康や病気について知りたいときは**チャイルドヘルス**、**保育と保健**、**病児保育研究**があります。園では思わぬ子どもの事故や病気に遭遇することがありますので日頃から知識を蓄えておきましょう。

こどもの栄養は、カロリー計算された毎月の献立が年齢別に掲載されていて便利です。（季刊）**児童養護**、**実践みんなの特別支援教育**は、児童養護施設、障がい児教育に関する専門誌です。

卒業後にも役立ちます

保育の現場で役立つと思われるものが**幼児の教育**、**幼児教育じほう**、**キリスト教保育**、**仏教保育カリキュラム**、**エドゥカレー**など。薄くて小さな雑誌ですが現場の話題が豊富です。**ほいくあっぷ**は興味、関心が高いテーマについて分かりやすく掘り下げて保育の質向上を目指しています。**ちいさいなかま**は保育士さんの声が多く掲載され園の先生方にも広く読まれているようです。社会との関わりかたについては**保育界**、**私幼時報**、問題関心を発展させて議論しているのが（季刊）**保育問題研究**です。保育の研究誌は多くありませんが**保育の研究**、**保育学研究**が参考になります。社会における保育の最新情報は**保育情報**や**保育通信**、切り抜き**速報保育と幼児教育版**が参考になります。



卒業後の利用★お待ちしております！

2年生のみなさん、多くのご利用ありがとうございました。卒業後も図書館を有効に利用している卒業生がいます。勤務が終わってから、また平日の休みを利用して資料を探しに来る人もいます。在学中と同じように図書館を利用できますので、行事のアイデアが必要なとき、使い慣れた図書館にまた足を運んでください。

*新型コロナウイルスの感染拡大状況により、利用を一時休止する場合があります。事前にホームページなどで最新情報を確認してください。

利用方法（事前予約制です）

- ◆利用日時を前日までにメール（lib@yokotan.ac.jp）、または電話（直通 045-835-8115）で連絡ください。
- ◆当日、本館受付で手続きをして図書館へ来てください。
- ◆ライブラリーカードを持参してください（更新手続きをします）。



便利なホームページの活用を

The screenshot shows the library's homepage with the following elements:

- Header:** 横浜女子短期大学図書館 (YOKOHAMA WOMEN'S JUNIOR COLLEGE LIBRARY) and navigation links for Home, In-library, Search, Borrowing methods, About the library, and Publications.
- Main Content:** A large image of a student reaching for a book on a shelf. To the right, there is a section titled "当館について" (About the library) and "開館時間" (Opening hours).
- Search Bar:** A green search bar with "条件検索" (Advanced search) and "検索" (Search) buttons.
- Footer:** A section titled "お知らせ" (Notice) with a list of recent events.

Callout boxes highlight the following features:

- 自宅から本もさがせます** (You can find books from home): Points to the search bar.
- カレンダーで開館日を確認** (Check opening days with a calendar): Points to the opening hours section.
- 詳しい利用について** (Detailed information about usage): Points to the "In-library" navigation menu.
- 最新のお知らせ** (Latest notices): Points to the "Notice" section.

図書館カレンダー



3 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



4 April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

休館日

平日（月～金）9:00～16:50（3月）／9:00～18:20（4月）

土曜 9:00～15:00

4月以降、土曜の開館日は予定です。詳しい日程は後日HP、掲示でお知らせします。

授業の準備などで9:00前から利用したいときは、事務室に声をかけてください。

8:50ごろから開館します。

返し忘れの本はありませんか？

返却期限の過ぎた図書が手元にありませんか？ わからない時はリストを出力できますので、カウンターまで確認にきてください。

予約やリクエストの連絡に便利なメールアドレスの登録を！

バーコード読み取り機能のついた携帯電話で読み取って
学籍番号と氏名を送信してください。

登録されたアドレスは図書館からの連絡以外には使用しません。



後記

2年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。多くのご利用ありがとうございました。2年間で得た学びや同じ目標を持って過ごした友人は、これからもずっと大切な宝物になるでしょう。今後はそれぞれの新たな環境の場で力を発揮してください。活躍を応援しています。

(原)